

## MEDIA ADVISORY

### アフリカの変革のためイノベーションに取り組むユースボランティア

横浜 – 2019年8月18日

国連ボランティア計画 (UNV) は8月28日、アフリカの社会経済と政治的変革のためイノベーションに取り組むユースボランティア活動を紹介するサイドイベントを開催します。このイベントは、2019年8月28日から30日にかけて横浜で開催される第7回アフリカ開発会議 (TICAD7) の一環として行われるものです。

イベントでは、吉田綾・外務省国際協力局地球規模課題総括課長、トイリー・クルバノフ UNV 事務局次長、ラミン・マネー国連開発計画 (UNDP) アフリカ地域センター所長が講演を予定しています。

講演に続くパネルディスカッションでは、草の根レベルでの人々の参画にボランティア活動が及ぼす影響力を明らかにするとともに、持続可能な開発に向けたボランティアの関与強化に対する障壁をいかに除去できるかについて話し合います。

パネリストとしては、サラ・アニャン・アグボール・アフリカ連合委員会人的資源・科学・技術委員、それぞれザンビアとカメルーンでイノベーションを進めるユースボランティアのカサポ・マンダ氏とンゲイ・ヒルダ・タボット氏、UNDP ルワンダ・キガリオフィスで国連ボランティア環境専門官としてアフリカに関するイノベーション責任者を務める、大塚玲奈氏が参加を予定しています。

パネルディスカッションでは、ボランティアや起業家としての若者の起用、民間セクターの巻き込み、コミュニティの当事者意識育成に関する経験が語られます。

会議センター3階では、UNV と外務省とのパートナーシップ (関西学院大学他日本国内8大学との協働プログラム・国連ユース大学生ボランティア) の一環として派遣された元国連ユース大学生ボランティアが皆さんをお迎えし、ユースボランティアと若者が主導するイニシアティブについてご紹介します。

-----  
取材とメディア関係のご質問については、下記にお問い合わせください。

国連ボランティア計画 東京リエゾンオフィス

TEL: 03-5467-7815

unv.tokyo@unv.org

**編集者注記:**

国連ボランティア計画 (UNV) は、全世界で平和と開発を支援するためのボランティアリズムを推進する国連機関です。UNV はボランティアを動員し、全世界でボランティアリズムを擁護し、開発計画へのボランティアリズムの統合をパートナーに促すことによって、平和と開発に貢献しています。

UNV は、すべての人々と国々が貧困の撲滅と同時に、不平等と排除の大幅な是正を通じ、平和と開発を達成する方法として、ボランティアリズムが社会の中で認識される世界というビジョンを掲げています。

UNV と日本政府との協力関係は1971年にまで遡り、国連ボランティアに対する全面的な資金提供という点で、最も歴史のあるパートナーシップの一つとなっています。UNV は日本の市民にとって、国連システムでの経験を提供しています。2008年以来、日本からは942人の国連ボランティアが全世界に派遣されています。UNV は2018年、116人の日本人国連ボランティアを派遣しましたが、そのうち45人はアフリカに派遣されています。

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業 (HRD 事業) は、外務省、広島平和構築人材育成センター、そして UNV による協働パートナーシップです。2007 年に発足した本事業の資金は、外務省が拠出しています。

TICAD は、日本政府が1993年に立ち上げた首脳レベル会合で、国連アフリカ特別顧問室 (UNOSAA)、国連開発計画 (UNDP)、世界銀行、アフリカ連合委員会も共催機関に名を連ねています。

今年の TICAD7では、イノベーションと民間セクターの関与を通じた経済構造転換の促進及びビジネス環境の改善、持続可能かつ強靱な社会の深化、そして平和と安定の強化という、アフリカ開発の3つのテーマを中心とした協議を行います。